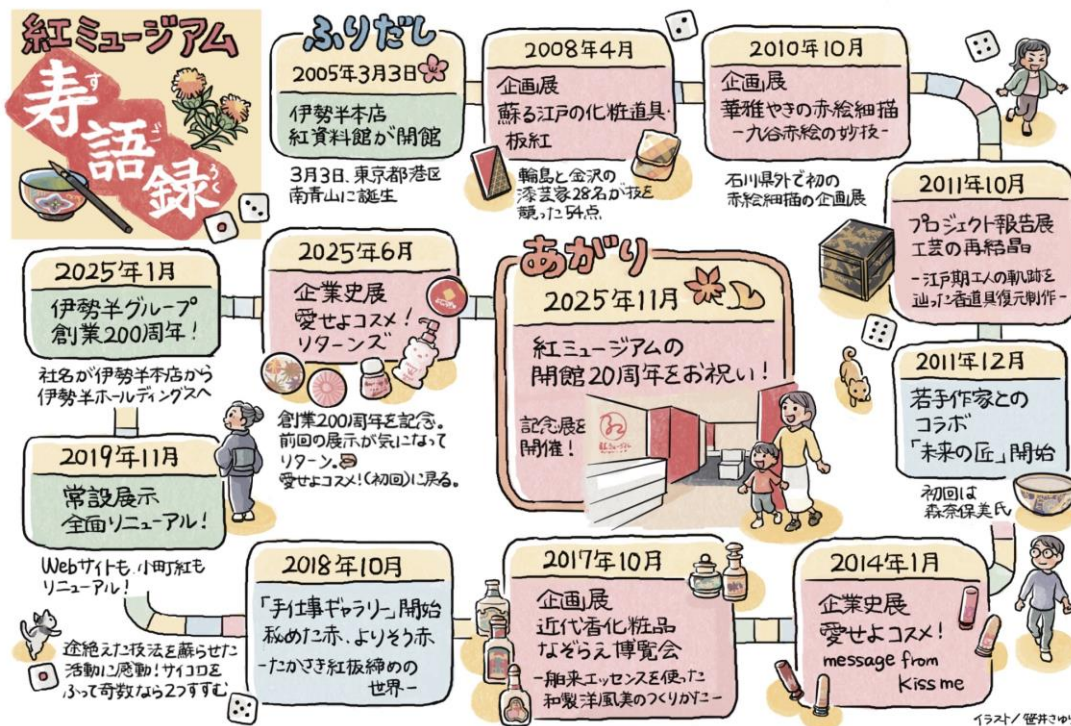


伝統工芸を切り口にすごろく形式で 20 年間の歩みをたどる
手仕事ギャラリー

開館 20 周年記念「紅ミュージアム寿語録」

会 期：2025 年 11 月 11 日(火)～12 月 13 日(土)

株式会社伊勢半ホールディングスの運営する紅ミュージアムは、2025 年 3 月に開館 20 周年を迎えました。これを記念し、手仕事ギャラリーの特別編として、紅ミュージアムで紹介してきた伝統工芸に再び光を当てながら、20 年間の歩みを振り返る展示を、2025 年 11 月 11 日(火)より 12 月 13 日(土)まで開催します。



イラスト・笹井さゆり氏

イベント会場では、もっと詳しいすごろくや伝統的な工芸の技法を紹介するリーフレットを配布します。

紅ミュージアムは、2005 年 3 月に、東京・南青山で紅と化粧の歴史・文化を紹介する常設の資料館として開館しました。日本に残る最後の紅屋として、江戸時代から守り継ぐ紅づくりの技や紅の文化を発信し、後世へと伝えていくことを使命に化粧・江戸・技・工芸をテーマにしたさまざまな企画展を開催してきたほか、工芸の技を継承し未来を担うべく活動する作家や団体にスポットをあてて紹介する「未来の匠」、「手仕事ギャラリー」などの企画や、講座、体験ワークショップ、出前授業等を行ってきました。

本年開館 20 周年を迎え、これまでご紹介してきた伝統工芸を振り返りつつ、開館からの歩みを 43 コマのすごろく形式でたどります。

手仕事ギャラリー 開館 20 周年記念「紅ミュージアム寿語録」

【開催概要】※「伊勢半 紅」[公式 web サイト](https://www.isehan-beni.co.jp/)で最新情報をご確認の上、ご来場ください。

会 期：2025 年 11 月 11 日（火）～ 12 月 13 日（土）

開館時間：10：00～17：00（入館は閉館の 30 分前まで）

会 場：紅ミュージアム（東京都港区南青山 6-6-20 K's 南青山ビル 1 階）

休 館 日：日・月曜日

観 覧 料：無料

主 催：(株)伊勢半ホールディングス

電 話：03-5467-3735

web サイト：<https://www.isehan-beni.co.jp/>

交通案内：〈地下鉄〉東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」駅下車。
B1 出口より徒歩約 12 分、B3 出口（エスカレーター・エレベーターあり）
より徒歩約 13 分

手仕事ギャラリーとは…

「日本伝統の技」を未来へ繋ごうとする活動や、途絶えた
伝統技法の復元に尽力する取り組みなどを支援するため、
2018 年よりはじめた紅ミュージアムの展示企画です。

【併催イベント】サイコロふってリアル寿語録ツアー

ジャンルを問わず独自の切り口で美術の楽しみ方を発見し、愉快的語り巻き込みながら紹介してくれるアートテラー・とに～氏を MC に迎えて、すごろく対決をします！

サイコロをふって止まったコマからどんなアートトークが生まれるのか？「あがり」までたどりつけるのか？いざ勝負！

日 時：2025 年 11 月 28 日（金） 18:00～19:00

※イベント参加者のみの貸し切り夜間開館となります。

M C：アートテラー・とに～氏

定 員：15 名

参加費：1,000 円（お土産付き）

●申込方法：公式 web サイト内 [\(Air リザーブ\)](#) よりお申し込みください。

●申込受付開始：2025 年 11 月 4 日（火）10：00 より



©Shingo Kanagawa

公式ブログ

アートテラー・とに～の
【ここにしかない美術室】
<https://ameblo.jp/artony/>

SNS

@artteller | X
@artteller_tony | Instagram

アートテラー・とに～氏プロフィール

1983 年生まれ。千葉大学法経学部法学科卒。元よしもと興業のお笑い芸人。
芸人活動の傍ら趣味で書き続けていたアートブログが人気となり、独自の
切り口で美術の世界をわかりやすく、かつ楽しく紹介する「アートテラー」
に転向。現在は、美術館での講演やアートツアーの企画運営をはじめ、雑誌
連載、ラジオやテレビへの出演など幅広く活動している。
著書には、『名画たちのホンネ』（三笠書房）、『東京のレトロ美術館』（エク
スナレッジ）などがある。



伊勢半ホールディングス

【主な展示作品】

すぐろくの各コマに登場する作品を一部ご紹介します。（敬称略）

◇企画展「甦る江戸の化粧道具・板紅」より

2008年4月、輪島・金沢で活躍する漆芸家、総勢28名が技術を注いで制作した板紅28点を展示しました。今回、**当館所蔵および個人で所蔵する作品**を展示します。



「板紅 片身変り小紋」川崎哲史



「源氏物語『花の宴』」向面延雄



「黄揚羽板紅」鳥羽雅哉

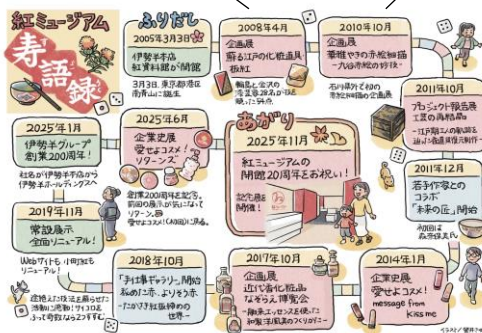
来場者に配られるすぐろくは
もっと詳細！！例えば↓

◇細工紅を使った木版の紙紅板「ざくろ」を発売 より

2009年12月、江戸時代の絵具の紅「細工紅」を苦心の末に復活。限定制作の木版の紙紅板「ざくろ」を発売。



小町紅 板紅「ざくろ」立原位貴



◇企画展「華雅^{かが}やきの赤絵細描-九谷赤絵の妙技-

より

2010年10月、白磁胎に極細の筆で髪の毛よりも細い赤い線を描き詰め、文様意匠を作り上げていく精緻美麗な九谷焼・赤絵細描を紹介しました。

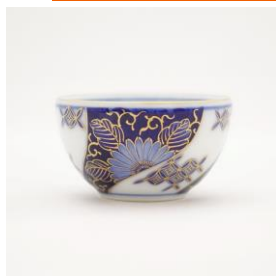


小町紅 山水文 福島武山

さらに
会場で紹介する
工芸の解説冊子
もプレゼント♪

◇若手作家とのコラボ 「未来の匠」開始 より

2011年12月、幻の名品といわれる「明治伊万里」のエッセンスを取り入れて制作された作品に、紅を刷いた4種のコラボレーション小町紅が誕生しました。若手作家を応援する「未来の匠」展は、このあとも継続して開催されています。各地の匠を紹介します。



小町紅 染付金彩菊花文 森奈保美

◇プロジェクト報告展「工芸の再結晶-江戸期工人の軌跡を辿った香道具復元制作」より

2011年10月、江戸時代中期の大名調度を、漆工、木工、金工、陶磁、装演、彩絵などの現代の工人の手で復元制作したプロジェクト報告展。この展覧会以来初、14年ぶりに披露します。



復元制作した「十種香箱」



伊勢半ホールディングス

【小町紅の展示・販売】作家×小町紅コラボレーション

2025 年 11 月 11 日（火）より、各地の伝統工芸作家と紅屋・伊勢半がコラボレーションした小町紅を販売します。丁寧な手仕事で制作された磁器や漆器、彫金作品と、紅花の花びらから抽出した赤色色素・紅が再び共演します。小さな華やぎや、うるおい、楽しみが加わる逸品を、ぜひ貴方のいつもの生活に取り入れてください。

紅器制作（五十音順、敬称略）：

相川志保、岩田俊彦、織田恵美、河田里美、河端理恵子、里美寿隆（平戸嘉久正窯）
関あずさ、竹内瑠璃、たなかふみえ、中里太陽（平戸洸祥団右エ門窯）、中島ゆり恵
福本幸（玉泉窯）、吉田純鼓、理節

小町紅および作品の購入方法については、「伊勢半 紅」公式 web サイトよりご確認ください。

【紅ミュージアム】入館無料

「紅」と「化粧」2つの視点から歴史と文化をたどる「紅ミュージアム」は、文政八年(1825)の創業より、秘伝とされた紅の製法を受け継ぎ、日本で唯一今も変わらずに作り続ける紅屋・伊勢半の運営する資料館です。ここでは、紅づくりの技と文化や日本の化粧の歩みを、多くの実物資料からご覧になれるほか、小町紅のお試しづけや、紅・化粧・伝統工芸にまつわる講座などをご用意しています。



【江戸東京きらりプロジェクト】



東京都が勧める「江戸東京きらりプロジェクト」は、江戸東京の伝統ある技や老舗の産品等を新たな視点で磨きをかけ、その価値と魅力を国内外に発信することで、東京ブランドの確立やものづくりの本場・東京の再興、伝統ある産業の魅力向上、技の継承を目指す取り組みです。

伊勢半 HD は、2018 年度からモデル事業者に選定されています。

<https://edotokyokirari.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社伊勢半ホールディングス PR 担当

MAIL mail@isehan.co.jp

お客様お問い合わせ先

株式会社伊勢半ホールディングス 本紅事業部

〒107-0062 東京都港区南青山 6-6-20 K's 南青山ビル 2 階

TEL 03-5774-0296（平日：10:00～17:00 土・日曜、祝日定休）



伊勢半ホールディングス